

高齢化の現状を踏まえた今後の箕面育成園のあり方研究会（第2回） 議事録

日 時：平成26年10月15日（水）10：00～12：00

会 場：箕面市立多世代交流センター 会議室

出席者：委員12名 事務局3名 傍聴1名

委員）時間になりましたので始めたいと思います。前回の議事録を添付しております。確認事項は3つです。①は箕面育成園が入所施設のままでは課題がある。②介護保険が使えるようにする。③今より利用者が安全で安心して豊かに生活できるようにする。

座長）新しい育成園の内容についてはこれから検討していきます。資料説明へとお願ひします。

委員）資料②は高齢者向け住まい、資料③はサービス付き高齢者住宅に関する資料で、インターネット上にも掲載されています。資料④は箕面市の高齢者福祉計画です。資料⑤は高齢者を町で囲むという例でシェア金沢の取り組みです。全体を町としてとらえ、豊かな空間「人がつながる」というコンセプトです。資料⑥はGH（グループホーム）とサ高住（サービス付き高齢者住宅）の比較です。また、資料⑦は箕面育成園のイメージ図です。これらは協議をしていただくための参考資料で、決まったものではありません。

委員）配布資料の補足をします。お配りした「シェア金沢」は、いろいろな福祉施設や住居、店舗などを一つのエリアに作った例です。テレビでの放映もありましたし、グッドデザイン賞（街づくり）を受賞されています。このとおりのことはできませんが、障がい者、高齢者、外国人、学生など「ごちゃまぜ」と表現されていますが、そのようにいろいろな人たちが集まってくると新しく多様な展開が出来るという、その考え方を参考として頂きたいと思い配布しました。機会を見つけて見学に行ければと考えています。

座長）国の方で介護報酬が上がっているが、これから先どうなるか。介護保険も利用して今よりも安心しての生活が必要です。高齢化の住まい全部を議論しているのは大変ですが、幅広い意見をいただきたい。

委員）前回の議論では、グーテンも育成園もまざっていたのではないか。GHの利用者が高齢になり園に戻るということで、園をメインにしたらいのではないか。全国大会での資料の中に旭川での例（病院が併設であり）はないですか。

委員）いろいろなところでご講演をされ病院を経営されている医療法人です。国の動向を待たず、重症心身障害者などのために必要と考えられた施設などを自ら建設整備されています。大阪手をつなぐ育成会は医療法人ではありませんので同じようなことは出来ないと思います。大阪の北摂に重症心身障害者施設と併設病院を作りたいという要望がありそれは大阪府にも出されていますし議論もされていますが、大阪府としては新たな施設や病院の建設に前向きではありません。

座長）豊中市は入所施設をつくらないという考えです。今回の話は育成園でのことだけれど、GHから育成園に帰るということも含まれています。このまま、入所施設の

ままで良いのか。医療的ケアが必要である状況で、GHでそれができるかどうかの問題でもあるでしょう。

委員) 疑問点です。一つ目は、方向性として皆さんの意見は一致しているのですか。現実として介護保険利用する形ですか。今の場所で、ですか。二つ目は、こちらの職員が疲弊していると感じたが、働きやすさは容れ物を替えるというようなことで解決するのですか。三つ目は感想です。ご紹介のあった施設のことですが、大きな施設のことを思い出しました。

委員) まだ、(入所を止めるということ) そこまで一致していません。シェア金沢の社会福祉法人は、廃寺を改修して福祉サービス事業もされており、特長はその町の人たちが集まってくるような取り組みをしているということです。大きな施設のイメージを感じられるということに気づきましたが、提示したのは、いろいろな人が集まるというエリアづくりの発想を参考にさせていただきたいからです。

座長) 親は入所施設を安心だと思っているようだが、子どもはそう思っているだろうか。

委員) ある利用者のことです。両親はGHの利用を否定されていたのですが、本人はGHを利用して「うれしい。」と言われる。ショックなのは両親が亡くなることで実現できた。親は入所施設に入ることで安心できる。本人にとってよいことと思っていたのが違うのでしょうか。私は、子どもの将来を考えると入所施設またはGHでの生活と考えると。就労部会での保護者にGHはどういうところですか?と尋ねると、老人ホームというイメージが強くありました。子どもが働くという背景があるのとならば、保護者のもつイメージが違うのではないのでしょうか。GHで病気になった場合はどうするかとか考えると、重度の子をもつ親は入所を考えるのではないのでしょうか。だから、今は大変な仕事(あり方研究会の委員)を引き受けてしまったと思っています。

委員) 例としてですが、重度の方で入院されていまして、母親は八十歳、「私が無くなったら、どうしましょう。私に出来ることは病院との架け橋しかできていませんが……」。と言われる。

委員) 子どもの病気は家だと発見することは出来なかったでしょう。育成園だったから分かったのではないかと思います。医療ということで退所しないといけないというのが現実でした。

委員) 家族会の考えということでは、育成園の家族とGHの家族とは一つの家族会です。

座長) 年齢層での違いはありますが、育成園はみな同じ考えではないのでしょうか。私のところでは、10才若いけれど認知もおられ、入所施設は減り、特養にも簡単に入れないという課題の中で親の悩みはつきないですね。全体に疲労感があるように感じます。現状で支えるのは限界ではないのでしょうか。胃ろうもできないと考えたら、高齢者だけの住まいという考え方で進めるのは問題があるでしょう。

委員) 親はこの子に障害があれば、どこかで入所をと考えていましたが、今は神話ですよ。個々の負担になっているのではないのでしょうか。GHでは、日中に瞬間ですが、地域との接点は在りますが……。

委員) 職員の数は、施設では25人に1人、GHでは6人に2人。どちらがいい?と考えれば、今はGHで生活してくれたらと考えています。世話人・職員との人数を考えたらGHと考えると思います。

- 委員) 入所施設については嫌だなと思う面もあります。入院については、子どもに私は付き添えないので、A I U に 2 口入ることで少し安心しています。
- 委員) 親も職員も疲れているとだめですよ。お給料のこともあるかと思いますが、誇りをもって仕事をしていただきたいですね。
- 委員) 高槻のGH “レジデンスなさはら”に見学に行きましたが、新しくいいですね。365 日の生活をしている方もおられます。入るときに多額の寄付をいただき、利用者さんは年金での生活をされているようです。
- 委員) 自分で食べられなくなったらGHを出なければならぬのですか？
- 委員) 認知症の方に胃ろうするのはよくないのではないですか。
- 委員) 今はしない方向ですね。
- 委員) 在宅介護での対応ですね。
- 委員) 現実的には無理ですよ。
- 委員) 具体的に箕面育成園からGHへ移ることができる方とかはいるのですか？
- 委員) おおまかに 1 ~ 2 割の方は現在のGHですぐ生活が可能と思われま。ただし、経済的な条件は除いてのことですが。半分以上の方は個別の対応条件を整えばGHでの生活が可能かと思われま。その他の方は将来的にはですけれども介護施設等の生活環境が望ましいのではないかと思われま。
- 委員) GHで認知になったら、園で受けていただけるのでしょうか。
- 委員) 臨時では対応させていただきますが、長期では……。
- 委員) 職員がどれだけ看ることができるかでしょうね。
- 委員) 経済的にどうなのですか。
- 委員) 職員配置は、夜間 2 名です。国基準よりは多いです。
- 委員) 介護の度合いがませばなおさらです、人件費は増えます。
- 委員) 現在の体制などを変えないと今後はその人数では対応できないでしょう。
- 委員) 育成園の建物は使えるのですか。
- 委員) 箕面育成園の建物は使えると考えています。
- 委員) 箕面市の拠点構想にはなると思うがどうか。
- 委員) この研究会に先立って、具体的な検討の方向性を箕面市の障害福祉課に話をしてお意見を伺った。例えば、グループホーム化するという事に関しては、異論はないとのお返事は伺ったが、生活支援拠点構想についてのお話はその時点ではありませんでした。
- 委員) 子どもの横に一緒にいたいと思われる方もおられますか？
- 委員) サ高住はそんなに高くないが、サービスが多くとけると高くなってしまいます。まだ入りやすいのではないのでしょうか。
- 座長) 資料にイメージ図として出していますが、意見があればお願いしたい。
- 委員) 障がい程度が同じであれば、新しくなれば、自己負担はどのくらい違うのですか。経営のことも考えての話になるのではないのでしょうか。
- 座長) 全部が介護保険ということではないでしょう。
- 委員) 月 40~50 万は入るのではないだろうか。現在の 35 名の入所の方が今後どうされるのかも聞いておきたい。
- 座長) 外部のGHを利用するとかも検討も必要でしょう。

委員) 10月1日からホーム開所しました。下に病院があります。介護ステーションという話は大切です。介護ステーションを吸収する方向で考えています。

委員) 訪問介護ステーションとの連携は不可欠と考えています。実際どれくらいの費用負担があるのかは検討していけばいいと思います。入所施設のままで行きますと利用者への対応が困難になり受け入れに限界が来ると思います。現状の制度の枠内だけで考えていたら行き詰まる、何かを新しく作り出さないと問題解決はできない。

委員) ご意見をまとめて次回に引き続きしていきたいと思います。

委員) 進め方として、何を議論するのかを絞って何いただければ分かりやすいです。